

医療関連感染防止の取り組みについて

当院の医療関連感染予防に関する取り組みは、ICT・AST・感染対策合同委員会を中心に組織的に行っています。

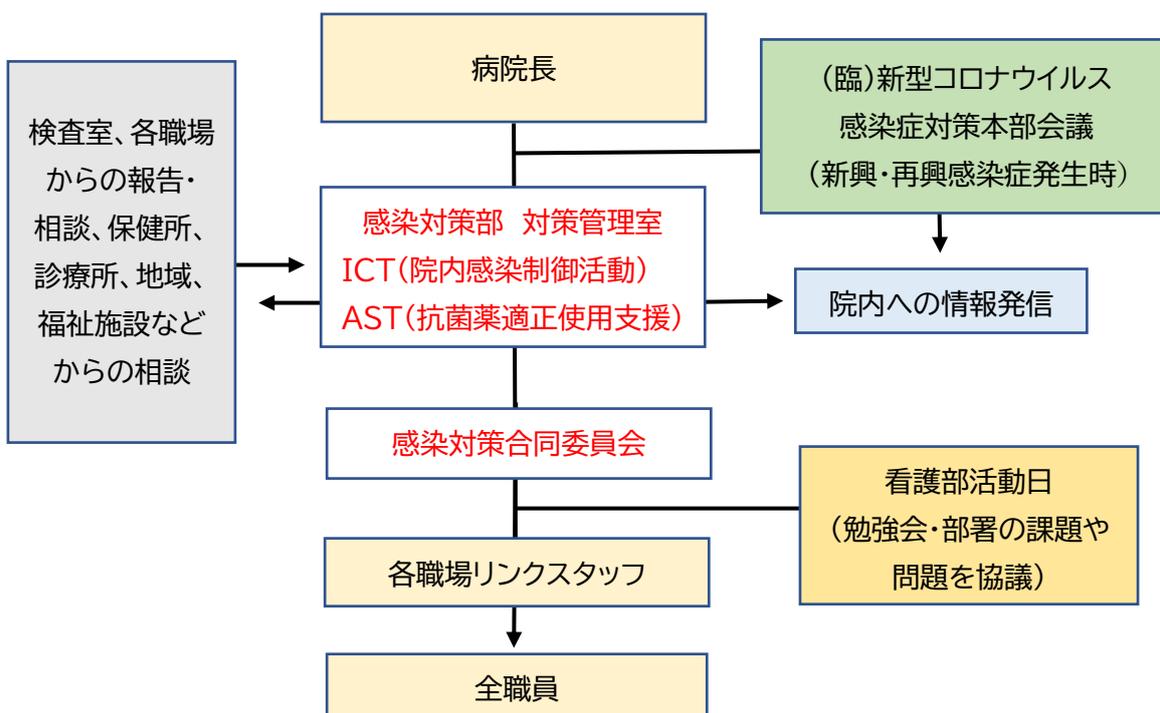
ICTとは Infection Control Team の略で、「感染対策チーム」と呼び、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務のスタッフで構成され、各々の専門知識を生かしてチームとして活動しています。ICT の活動は、定期的な院内ラウンドと感染症患者発生状況の点検、感染予防策の実施状況と効果の評価、現場職員支援などが主となります。

ASTとは Antimicrobial Stewardship Team の略で、「抗菌薬適正使用支援チーム」と呼び、感染症の治療効果を高め、耐性菌の出現を抑えるために、検査や抗菌薬について支援をする活動を行っています。

感染対策管理室では、それら活動のマネジメントを行い、安全な医療を提供するために、職員の意識啓発、感染防止体制の整備を行い、感染の防止に努めています

また、第2種感染症指定医療機関として、新興・再興感染症対策の地域における基幹的役割を果たすことも求められています。

【組織体制】



【対象者】

病院に存在する全構成員

患者および付き添い者、面会者、職員、委託業者、ボランティア、実習生など

【医療関連感染対策の内容】

- ICT 活動 : 院内定期巡回、アウトブレイク対応など
- AST 活動 : 抗菌薬使用状況把握、適正使用推進支援、外部からの相談など
- 職員への教育・啓発活動
 - ・ 全職員を対象とした年 2 回の全体研修会
 - ・ 新人、中途採用者対象、部署別の感染予防研修会
 - ・ ICTだより発行、電子カルテ院内掲示板からの情報発信
- サーベイランス(院内感染発生状況調査)
 - ・ 医療器具関連 (UTI、SSI、BSI、VAP)
 - ・ 薬剤耐性菌検出状況
 - ・ 手指消毒量評価、手洗いチェック
 - ・ 感染性胃腸炎、疑似症疾患
- 外部サーベイランス機関への参加 : 厚生労働省 JANIS、信州 SICSS
- 感染対策マニュアル整備 : 新たな知見に基づいた見直し、現場状況に応じた改訂
- ファシリテーション
 - ・ 水回りを含めた衛生環境整備、廃棄物分別、滅菌・消毒物管理状況など
- 職業感染対策
 - ・ 針刺し事故、血液・体液曝露に基づく検診
 - ・ 結核接触者検診
 - ・ ワクチンプログラム推進(B 型肝炎、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎)
 - ・ COVID-19 スクリーニング
- 院内、院外施設、地域一般からのコンサルテーションと研修会の実施
- 地域連携活動
 - ・ 年4回以上の保健所、診療所、加算連携病院とのカンファレンスや感染対策相互評価
 - ・ 新興感染症の対応訓練など

2022 年 4 月改訂